

事業報告書

平成22年度

(第3期事業年度)

自 平成22年 4月 1日
至 平成23年 3月31日

地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構

I 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の概要

①設立目的

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構は、地方独立行政法人法に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究等を行うことにより、庄内地域等の医療政策として求められる高度専門医療を提供し、及び当該地域における医療水準の向上を図り、もって住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

②事業内容

- (1) 医療の提供に関すること。
- (2) 医療に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 医療に関する技術者の研修に関すること。
- (4) 医療に関する地域への支援に関すること。
- (5) 災害時における医療救護に関すること。
- (6) 前各号に掲げる業務に附帯する業務に関すること。

③主たる事務所 酒田市あきほ町30番地

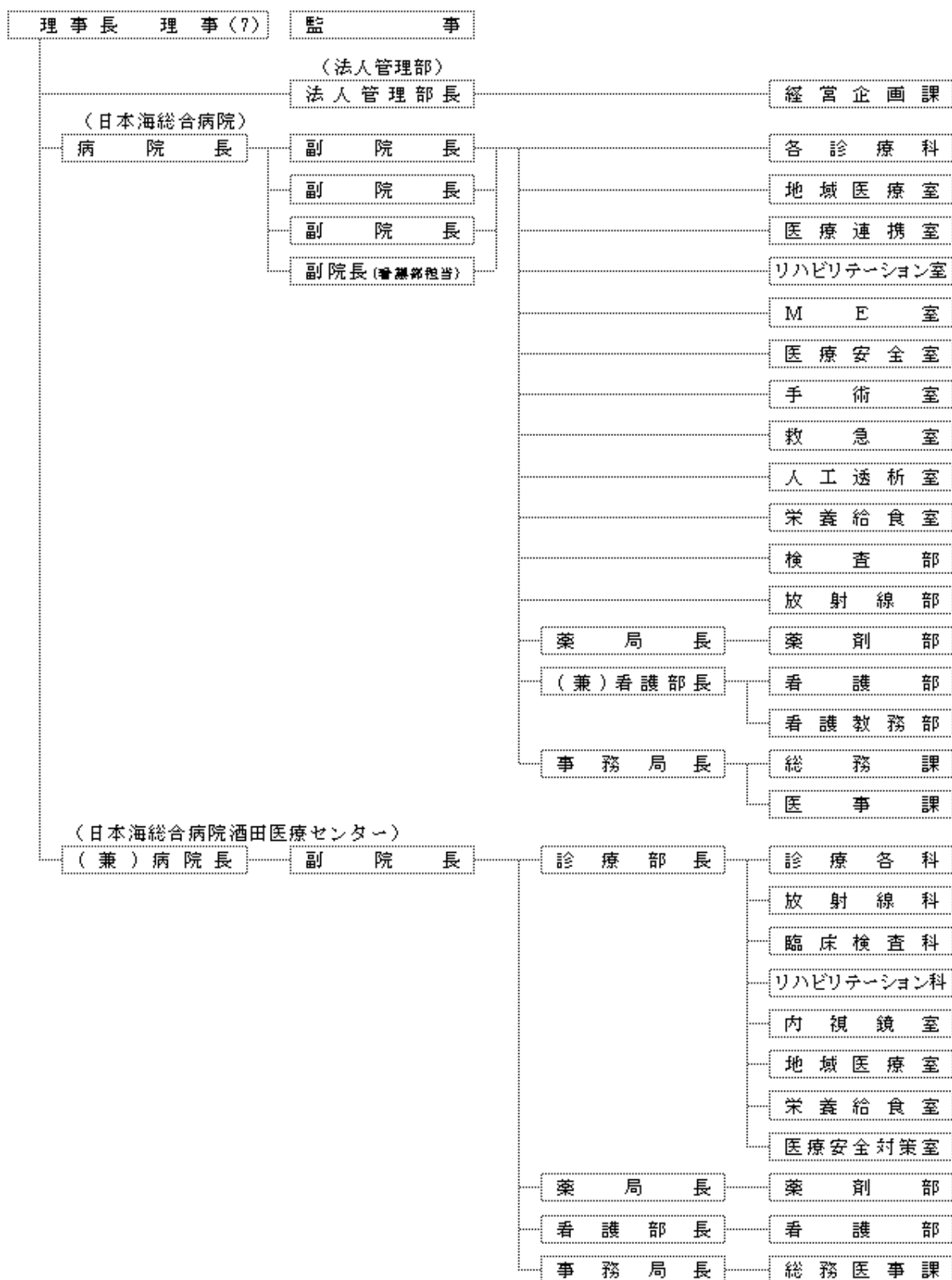
④役員

職名	氏名
理事長	栗谷 義樹
理事	豊田 幹夫
理事	田宮 和朗
理事	島貫 隆夫
理事	小熊 正樹
理事	佐藤 三紀
理事	佐藤 護
監事	齋藤 俊勝
監事	加藤 栄

⑤ 設置、運営する病院

日本海総合病院	酒田市あきほ町 3 0 番地
日本海総合病院酒田医療センター	酒田市千石町 2 丁目 3 番 2 0 号

⑥ 組織



⑦ 職員の状況（平成２２年１０月１日現在）

（単位：人）

病 院 職 種	法人管理部	日 本 海 総 合 病 院			酒 田 医 療 セ ン タ ー			計		
	H22	H22	H21	増減	H22	H21	増減	H22	H21	増減
医師・歯科医師		107	79	28	4	24	△ 20	111	103	8
医療技術員		111	80	31	11	38	△ 27	122	118	4
看護職員		551	434	117	41	163	△ 122	592	597	△ 5
事務・技師・技労	7	52	51	1	11	17	△ 6	70	75	△ 5
計	7	821	644	177	67	242	△ 175	895	893	2
法人職員	2	406	193		53	223		461	418	43
派遣職員(県)	3	405	443					408	446	△ 38
派遣職員(市)	2	10	8		14	19		26	29	△ 3

⑧ 資本金の状況

7, 770,987 , 178 円（平成２２年９月３０日変更登記時）

○平成 22 年度の事業概要

1 診療計画及び診療に関する重点事項に関すること。

(1) 診療の基本方針

統合再編の 3 年目である平成 22 年度の診療体制は、日本海総合病院で増築・改修工事が完成した年度であり、日本海総合病院酒田医療センター（以下「酒田医療センター」という。）においても増改修工事の設計、さらに工事着手が行われた。

そのため 2 病院の診療体制においても大きな見直しが行われた。そのうち、日本海総合病院では増築工事が 8 月末に完成し、その後 9 月から 10 月にかけて酒田医療センターから消化器内科、整形外科、精神科の 3 診療科の移行が順次行われた。それぞれの外来・入院患者の診療環境のスムーズな移行等に最大限配慮を行った。

酒田医療センターにおいても、日本海総合病院への診療科の移行、療養病床への転換に係る諸調整、作業を着実にを行い地域の医療機能の向上を図った。

なお、救急医療体制についても日本海総合病院の施設整備が完成するまでの間は、2 病院の診療体制を維持しながら、住民や消防・救急等関係機関に混乱が生じないように留意した。

①日本海総合病院

日本海総合病院には、施設整備が完了するまでは、外来の診察室や手術室等が限られることから次表の診療科を配置した。また、施設整備が完了するまでの期間については人間ドックを酒田医療センターで行うこととした。

日本海総合病院の機能（増築工事が完了するまでの間）

規 模	5 2 5 床
診 療 科 (2 5 科)	内科、循環器内科、消化器内科（一部）、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科（一部）、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科
施 設 基 準	一般病棟

特殊診療機能	I C U（集中治療室）、H C U（準集中治療室） 未熟児室 感染症病床 放射線治療 外来がん化学療法 セカンドオピニオン外来 緩和ケア 人工透析（急性期） 地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）
救急外来機能	消化器科、整形外科、神経科・精神科を除く全般
そ の 他	病院間移動用ワゴン車、院内保育所

増築工事が８月末に終了した後の９月から１０月にかけて酒田医療センターから消化器内科、整形外科、精神科等の診療科の移行を行い、次表の診療機能となった。それまで２病院で行っていた救急外来機能についても地域の病院・診療所、消防の救急隊との連携を図り日本海総合病院に集約化した。

日本海総合病院の機能（増築工事が完成した後）

規 模	6 4 6 床
診 療 科 (2 5 科)	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科
施 設 基 準	一般病棟
併設診療機能	救命救急センター(※平成２３年度開設) 屋上ヘリポート設置
特殊診療機能	I C U（集中治療室）、H C U（準集中治療室） 未熟児室 感染症病床 放射線治療 外来がん化学療法 セカンドオピニオン外来 緩和ケア 人工透析（急性期）

	人間ドック（※平成２３年度から） 地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）
救急外来機能	診療科全般
そ の 他	病院間移動用ワゴン車、院内保育所

②酒田医療センターの体制

日本海総合病院の施設整備が完了するまでの間、酒田医療センターでは、消化器科、整形外科、神経科・精神科を中心とした診療体制をとった。

平成２２年９月から１０月にかけて日本海総合病院へ消化器科、整形外科、精神科を移行させるとともに、平成２４年度の施設整備完了までは暫定的に西棟を療養病棟として活用する。

酒田医療センターの機能（日本海総合病院へ診療科を移行するまでの間）

規 模	２３５床
診 療 科 （７科）	内科（一部）、消化器科、整形外科、神経科・精神科、放射線科、麻酔科
施 設 基 準	一般病棟
特殊診療機能	人間ドック 地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）
救急外来機能	消化器科、整形外科、神経科・精神科
そ の 他	病院間移動用ワゴン車

酒田医療センターの機能（日本海総合病院へ診療科を移行した後）

規 模	１１４床
診 療 科 （２科）	内科、リハビリテーション科
施 設 基 準	療養病棟
特殊診療機能	地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）
そ の 他	病院間移動用ワゴン車

(2) 診療に関する重点事項に関すること。

①診療体制の整備について

a) 救急医療について

○日本海総合病院の増築工事完成後は、これまで2病院で行っていた救急外来機能を日本海総合病院に集約化した。また、平成23年4月1日からは庄内地域と最上地域の一部をエリアとする救命救急センターを開設する運びとなった。

○救急搬送件数は下表のとおりであり、2病院による救急医療の円滑な実施をした。

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
日本海総合病院	3, 657名	3, 727名	3, 655名	4, 383名
酒田医療センター	1, 128名	1, 022名	1, 195名	677名
合計	4, 785名	4, 749名	4, 850名	5, 060名

○小児救急外来に対する酒田地区医師会による診療支援の試行的な実施を行っており、22年度も酒田地区医師会等所属の小児科医7名の協力を得て救急体制の充実と病院勤務医の過重労働解消につながっている。

○日本海総合病院内に酒田市、酒田地区医師会、酒田地区薬剤師会との協議により、酒田市の「平日夜間・休日診療所」の開設を準備してきたが、開設許可等の諸課題が解決できず、平成23年4月1日の救命救急センターの開設にあわせ、小児科の診療支援と同様な形態により酒田地区医師会の医師の協力による救急外来の診療支援を実施することになり、その準備を行った。

○酒田地区広域行政組合と連携した救急ワークステーションの整備については、日本海総合病院の増改築にあわせ新棟(南棟)のM3階へその整備を図り、平成23年4月1日の開設の予定している。

b) がん医療

- ・ 外来がん化学療法の充実

○平成22年度は、日本海総合病院で延べ3,015名の患者に実施した。

- ・ 緩和ケア医療の充実

○平成20年度から緩和ケアチームに緩和ケア認定看護師を専従として配置し、毎週1回の緩和ケアチームカンファレンスと病棟回診を定着させ、いつでも相談が受けられるように提供体制を整えた。
平成20年11月からは酒田医療センターでの緩和ケア回診を行っている。

平成22年度は日本海総合病院85名、酒田医療センター1名、延べ1,445名に実施した。

また、緩和ケア外来の診察時間を平成21年度から拡大(これまでの午後3時開始からを午後1時開始に変更)した。平成22年度の利用者は延べ102名である。

- ・ がん相談支援体制の充実

○平成21年度より、がん相談員として専従の看護師が配置され、情報提供や相談の即応体制が充実した。がん情報図書コーナーの来室件数は63件、図書貸し出し数は98冊であった。

- ・ がん相談件数、セカンドオピニオン外来の充実

区 分	がん相談延べ件数	セカンドオピニオン外来件数
平成 19年度	76件	2件 (がん0件)

平成 20年度	1 6 1 件	5 件 (がん 3 件)
平成 21年度	4 3 8 件	3 件 (がん 3 件)
平成 22年度	5 8 0 件	5 件 (がん 2 件)

c) 脳卒中、急性心筋梗塞

- ・専門的医療やC T、MR I 検査の24時間対応

○平成22年度についても救急患者のためのC T、MR I 検査の24時間対応をおこなっており、件数は次のとおりとなっている。

	機器	平成20年度	平成21年度	平成22年度
日本海総合病院	C T	1 7, 3 5 3 件	1 7, 2 6 1 件	2 1, 3 5 8 件
	MR I	4, 9 6 9 件	4, 6 4 4 件	5, 9 9 7 件
日本海総合病院 酒田医療センター	C T	9, 0 2 3 件	9, 0 5 2 件	4, 3 6 8 件
	MR I	3, 7 3 1 件	3, 8 8 6 件	2, 1 8 8 件

- ・急性期リハビリテーションの充実

○平成22年度から運動器リハビリテーション料Iを新規取得し、基本的動作能力の回復等を通して、日常生活の自立を図るために、適切な運動処方に基づき運動療法等を行った。

d) 糖尿病

- チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた教育入院等について76名の集中的治療を行った

e) 在宅医療支援及び療養支援

- 在宅医療支援及び地域の介護機関・福祉機関・医療機関との連携を強化するため日本海総合病院の地域医療室は6人体制（内1名

は臨時職員）、酒田医療センターは2名体制（10月まで）で、訪問看護、退院調整等の推進にあたった。11月からは酒田医療センターは療養病床に転換をしたため、5名体制に増員し退院調整のほか、新たに入院前面談等を実施した。

- 日本海総合病院の地域医療室では、平成22年度では他病院紹介501名、在宅へ431名、老健施設へ98名、特老へ151名、ショートステイ102名、老人ホーム等へ65名、その他170名など合計1,518名の退院調整を進めている。
- 酒田医療センターでは、平成22年4月から10月までの期間では、他病院紹介144名、在宅へ150名、老健施設へ13名、特老へ18名、ショートステイ37名、老人ホームへ12名、その他29名など合計403名の退院調整を進めている。
- また、酒田医療センターでは、平成22年11月から平成23年3月までは、他病院紹介4名、在宅へ8名、老健施設へ3名、特老へ1名、ショートステイ1名、その他24名など合計41名の退院調整を進めている。さらに、入院前面談件数は延べ113件、他病院・診療所からの入院患者数は97名となっている。

f) その他

- 日本海総合病院では、平成21年度から週4回の助産外来を開設した。この外来は、妊娠36週以降の妊婦健診（延べ307名）と産後の母乳外来（延べ397名）からなり、平成22年度は延べ704名が利用した。
- 複数診療科を受診するなどの患者の利便性を確保するため、2病院間に患者移動用ワゴン車を1日10往復運行した。1日平均21.08人が利用した。

②災害時における協力

- 平成 22 年度は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に日本海総合病院から D M A T、日赤救護班として下記のとおり救護活動を行った。

日 時	内 容	場 所	派遣人数
3 月 11 日～14 日	D M A T 派遣	石巻市	7 名
3 月 24 日～26 日	日赤救護班派遣	会津美里町	5 名

※平成 23 年 4 月以降も引き続き 4 回派遣している。

- この未曾有の大震災にあたり被災地から 3 名の負傷者等が搬送、転院され、日本海総合病院で入院治療を受けた。
- また、災害発生時に備え、地域の医療機関、自治体等が参加する災害医療訓練に下記のとおり参加した。

日時	内容	参加人員	場所
9 月 5 日	酒田市防災訓練	5 名	酒田市内
10 月 26 日	庄内空港防災訓練	4 名	庄内空港
10 月 30 日	山形県災害時医療訓練	8 名	県庁

③政策医療の実施

- 酒田医療センターにおいて老人性認知症センターを運営し、老人性認知症疾患患者の専門医療相談、鑑別診断等について継続して実施した。平成 22 年度における相談件数は新規相談件数 407 件、継続相談件数 307 件である。

④優れたスタッフの確保と専門性の向上

- 平成 22 年度の臨床研修医及びレジデントの人数は、それぞれ 6 名と 10 名であった。（平成 23 年 4 月の臨床研修医は 9 名採用）
- 平成 22 年度は、救急看護認定看護師 1 名を養成し、より専門性の高い看護業務の推進を図っている。

- 医師の負担の軽減を図るため医師事務補助など医師を支援するため、各病棟などにクラーク 24 名を配置している。
- 看護師の本来業務に専念できる体制整備を図るため看護補助者を、日本海総合病院で 82 名、酒田医療センターで 30 名配置している。
- 専門職種である医師、看護師、薬剤師等の技術職について、院内研修等を次のとおり実施し、専門技能の向上を図った。

実施期間	対象者	人 数	研 修 内 容
H22年7月16日	看護師	34	外部講師を招聘した研修会 「看護研究Ⅰ」 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻 がん看護学分野 教授 佐藤 富美子 先生
H22年8月4日	看護師	113	外部講師を招聘した研修会（庄内総合支庁事業との共催） 「医療・福祉の原点としての緩和ケア」 北海道医療大学大学院 教授 石垣 靖子 先生
H22年8月4日	看護師	119	外部講師を招聘した研修会 「ヘンダーソンの看護理論」 酒田市立看護専門学校 副校長 草刈 妙 先生
H22年11月27日	看護師	38	外部講師を招聘した研修会 「看護研究Ⅱ」 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻 がん看護学分野 教授 佐藤 富美子 先生

⑤地域連携の推進

- 北庄内地域における中核的な急性期病院として、他の医療機関との役割分担と連携を強化した。特に医師会との連携により病状が落ち着いた患者さん等には「かかりつけ医」の連携を強化した。紹介率は以下のとおりである。

	日本海総合病院	酒田医療センター
紹介率	60.9%	48.0% ※

※酒田医療センターについては、平成22年4月から10月までの数値

- 酒田地区医療情報ネットワーク事業（「ちょうかいネット」）を地域医療再生基金を活用して、平成２２年度中に日本海総合病院の電子カルテ情報（診療録、処方、注射、検査、画像、サマリーなど）を、インターネットを利用して地域内の病院、一般診療所、歯科診療所、薬局、介護・福祉施設などで閲覧できるように情報提供するとともに、ファイル化された診療情報を病院や診療所等の相互間で送受信できるシステムを構築、整備し、平成２３年度当初から運用することになった。同時に、脳卒中、心筋梗塞などの地域連携クリティカルパスについても、この酒田地区医療情報ネットワークを活用して運用を行なうことになった。
- 地域医療室では地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関への患者情報の積極的な提供や、退院時カンファレンスの取組みの強化等により、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供ができるように努めた。

⑥クリティカルパスの活用

- 効果的な医療を提供し、患者負担の軽減にも寄与するため、看護部の看護情報担当部署に臨時職員を配置し、電子カルテをベースとしたクリティカルパスの作成に向けて作業を継続した。

⑦住民の意識の啓発

- 患者、地域住民向けの広報誌「あきほ」を年間３回発行して、病院機構の様々な情報提供に努めた。
- 酒田市民を対象とした出前講座や地域住民などを対象とした説明会などに参加し、経営状況、施設整備の状況などを説明し理解の増進に努めた。
- 病院機構と２病院のホームページについては、最新の情報提供を図っている。
- がん診療連携拠点病院 普及啓発・情報提供事業として次表の講演会

等を開催して住民の医療や健康に対する意識の啓発に努めた。

日時等	事業内容	備考
平成 22 年 7 月 11 日	やまがたピンクリボン・プレ、フェスタ 2010in 酒田 基調講演、パネルディスカッション	330 名参加
平成 22 年 12 月 4 日	「がん哲学外来 医療の隙間を埋める、偉大なるお節介」 順天堂大学医学部病理腫瘍学教授 樋野 興夫 先生	180 名参加

- 酒田エフエム放送「ハーバーラジオ」を通じ、病院機構の医師等による医療に係る「総合病院最前線！」の放送を月に 2 回放送をした。

(3) 患者・住民サービスの一層の向上

- 日本海総合病院の施設整備後の診療科の患者の集中化に伴い、診療科移行後の外来、検査、手術、会計等の実態を把握し、次のような改善に取り組んだ。
 - ・ 外来患者数の増加を見込み、自動入金機を酒田医療センターから 1 台移設をし、混雑時の会計待ち時間の解消に努めた。
 - ・ 入院説明・入院受付コーナー、薬剤処方箋 F A X コーナー等の配置を見直し、待ち時間の短縮化に努めた。
- 日本海総合病院において平成 20 年 10 月から在宅療養をされている重症心身障がい児（者）が家族の疾病等の理由により介護できない場合に日本海総合病院の空ベッドを利用して一時的に入所サービスの提供を行う重症心身障がい児（者）短期入所事業を継続実施した。
- 日本海総合病院内に平成 22 年 11 月に、美容室をオープンさせ、患者のサービスの向上に努めている。
- 日本海総合病院の正面玄関の北側の駐車場の出入り口を 2 箇所改修して開放し、患者用駐車場の混雑解消に努めた。
- 日本海総合病院の南棟のオープンに併せ、外来や内視鏡待合室、家族控え室等にテレビ 13 台を設置し、療養環境の向上等に努めた。
- 日本海総合病院では 11 月の南病棟のオープンから地上デジタル対応

でインターネットにも対応した新床頭台システムを平成22年度中に全ての病床に導入し、患者サービスの向上に努めた。

- 日本海総合病院の入口の風除パネルの設置やバス待合室ブースを設置し、患者サービスの向上に努めた。

(4) 統合再編、施設整備に関する住民への広報

- 日本海総合病院の施設整備完成後の酒田医療センターからの3つの診療科と救急外来の移行スケジュール、救急外来の入口の変更、構内道路の通行止めの解除等について、酒田市の広報、出前講座等を活用して説明を行った。

(5) 法令等の遵守と情報公開の推進

- ・ インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ・レセプト等医療情報の情報開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例、及び「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構における診療情報の提供に関する指針」の適用のもとに対応した。

診療情報の提供の件数	平成20年度	平成21年度	平成22年度
日本海総合病院	21件	27件	28件
酒田医療センター	3件	2件	4件

2 施設設備整備

(1) 統合再編に係る施設整備

日本海総合病院の増改築・改修工事については、当初の工事期間を短縮して平成22年8月に竣工し、竣工検査後の9月から10月にかけて酒田医療センターから順次、診療科の移行を行い、11月から日本海総合病院で救急外来を含め、全ての診療科の診察等を開始した。また、既存施設の改修工事についても平成22年度末に全ての工事が完成した。工事期間中は、工事に伴う騒音、構内道路の通行止めなど、患者の医療環境の低下に注意し、影響が最小限にとどめるように努めた。

酒田医療センターの増改修工事については、平成22年度に基本・実施設計を行い、増改修工事に着手した。

◆日本海総合病院の主な施設整備内容（平成21年度、22年度）

項 目	内 容
救命救急センター	・ E R（救急治療室）整備。屋上ヘリポート併設
一般病床	・ 118床増設 （うち人間ドック6床）
手術室	・ 5室増設
周産期施設	・ 分娩室、LDR室、個室等の整備
外来診察室	・ 診察室17室増設 ・ 外来がん化学療法室整備
内視鏡検査室	・ 8台（5台増設）、X線テレビ3台増設
放射線室	・ M R I（3.0テスラ）1台増設 ・ C T（320列C Tに1台更新） ・ 心臓カテーテル検査装置1台増設
駐車場	・ 増設

◆酒田医療センターの施設整備予定内容（平成23年度、24年度）

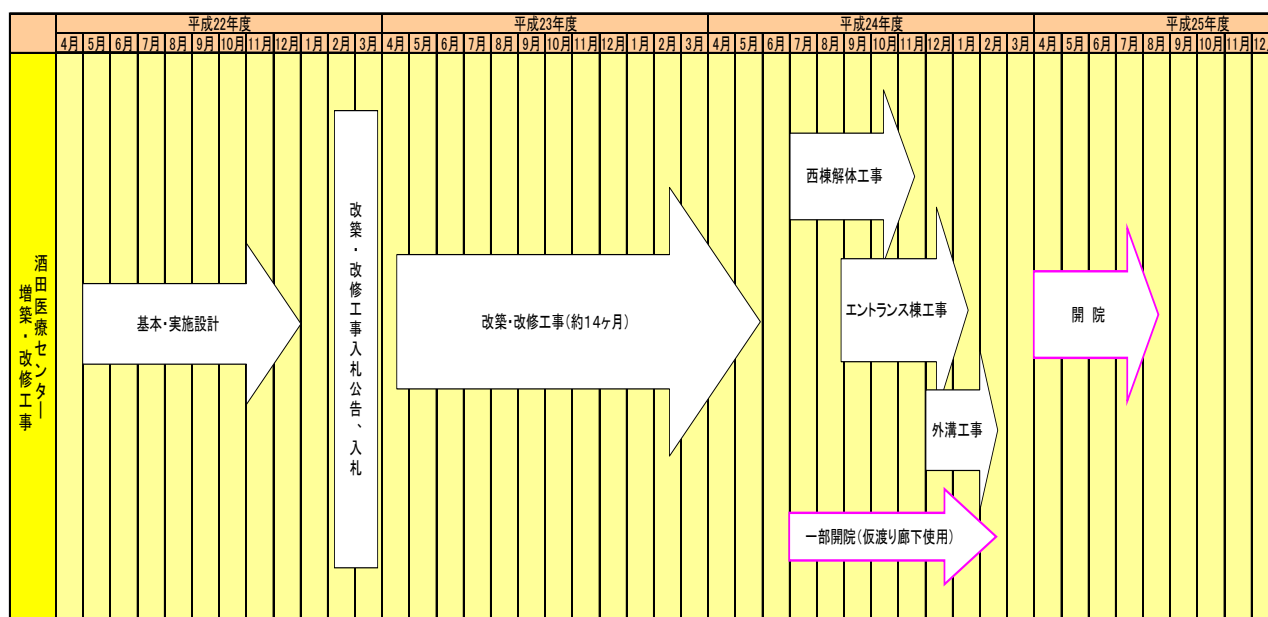
項 目	内 容
東棟改修	・70床の医療療養病床(2病棟) ・機能訓練室 ・事務室
回復期リハビリテーション病棟増築	・44床の回復期リハビリテーション病床 ・デイケア施設 ・給食施設
エントランス棟	西棟の解体後に東棟と回復期リハ病棟をつなぐもの。

<施設整備のスケジュール>

①日本海総合病院酒田医療センター増改修工事（計画）

- ・基本設計・実施設計：平成22年度
- ・工事期間：平成22年度から平成24年度

日本海総合病院酒田医療センターの増築・改修工事のスケジュール



3 患者動向と収支

平成 2 2 年度における患者数と収支については以下のとおりである。

(1) 患者数 (平成 2 2 年度)

区 分	日本海総合病院			酒田医療センター			計		
	H 2 1	H 2 2	増減	H 2 1	H 2 2	増減	H 2 1	H 2 2	増減
延入院患者数 (人)	151,892	173,641	21,749	70,398	40,817	△29,581	222,290	214,458	△7,832
実入院患者数 (人)	11,896	14,593	2,697	5,189	2,638	△2,551	17,085	17,231	146
入院/1日 (人)	416.1	475.7	59.6	192.9	111.8	△81.1	609.0	587.5	△21.5
病床利用率 (%)	79.3	82.8	3.5	83.1	74.3	△8.8	80.5	81.1	0.6
病床回転率 (%)	239.5	255.6	16.1	225.3	200.1	△25.2	234.2	245.3	11.1
平均在院日数 (日)	12.7	11.9	△0.8	13.5	15.2	1.7	13.0	12.4	△0.6
延外来患者数 (人)	231,755	280,100	48,345	104,714	54,075	△50,639	336,469	334,175	△2,294
新外来患者数 (人)	24,948	28,333	3,385	11,076	5,975	△5,101	36,024	34,308	△1,716
外来/1日 (人)	957.7	1,152.7	195.0	432.7	222.5	△210.2	1,390.4	1,375.2	△15.2
病 床 数 (床)	525	646	121	235	114	△118	760	760	0

(2) 患者一人当たりの診療単価 (平成 2 2 年度)

(単位:円)

日本海 総合病院	H 2 1	H 2 2	増 減	酒田医療 センター	H 2 1	H 2 2	増 減
入 院	48,660	53,384	4,724	入 院	37,922	35,349	△2,573
外 来	11,141	11,248	107	外 来	8,370	8,299	△71

(3) 予 算

(単位：百万円)

区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算－予算)
収 入	21,808	21,917	109
営業収益	14,471	15,156	685
医業収益	14,101	14,786	685
運営負担金	370	370	0
営業外収益	1,213	1,282	69
運営費負担金	1,075	1,172	97
その他	138	110	△ 28
資本収入	4,498	5,466	968
運営費負担金等	1,090	2,215	1,125
補助金	0	6	6
長期借入金	3,408	3,245	△ 163
その他の収入	1,626	13	△ 1,613

(単位：百万円)

区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算－予算)
支 出	21,444	20,851	△ 593
営業費用	13,895	13,812	△ 83
医業費用	13,709	13,629	△ 80
給与費	7,482	7,344	△ 138
材料費	3,517	3,755	238
経費	2,637	2,476	△ 161
資産減耗費	6	5	△ 1
研究研修費	67	49	△ 18
一般管理費	186	183	△ 3
営業外費用	734	732	△ 2
資本支出	6,801	6,257	△ 544
建設改良費	5,114	4,570	△ 544
長期借入金返還金	1,687	1,687	0
その他の費用	14	50	36

(4) 収支計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)
収入の部	15,684	16,433	749
営業収益	14,471	15,141	670
医業収益	14,101	14,771	670
運営費負担金収益	370	370	0
営業外収益	1,213	1,279	66
運営費負担金収益	1,075	1,172	97
その他医業外収益	138	107	△ 31
その他の収入	0	13	13
支出の部	15,681	16,242	561
営業費用	14,933	15,133	200
医業費用	14,747	14,950	203
一般管理費	186	183	△ 3
営業外費用	734	1,059	325
その他の費用	14	50	36
純 利 益	3	191	188

(5) 資金計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)
資金収入	26,549	27,428	879
業務活動による収入	15,684	16,387	703
診療業務等による収入	14,101	14,772	671
運営費負担金による収入	1,445	1,542	97
その他の業務活動による収入	138	73	△ 65
投資活動による収入	1,090	1,083	△ 7
運営費負担金による収入	1,090	1,083	△ 7
財務活動による収入	5,034	4,383	△ 651
長期借入による収入	3,408	3,245	△ 163
補助金による収入	1,626	6	△ 1,620
その他財務活動による収入	0	1,132	1,132
前年度からの繰越金	4,741	5,575	834
資金支出	21,444	19,789	△ 1,655
業務活動による支出	14,643	14,522	△ 121
給与費支出	7,482	7,480	△ 2
材料費支出	3,517	3,928	411
その他の業務活動による支出	3,644	3,114	△ 530
投資活動による支出	5,114	3,580	△ 1,534
有形固定資産の取得による支出	5,114	3,580	△ 1,534
財務活動による支出	1,687	1,687	0
移行前地方債償還債務、長期借入金の償還による支出	1,687	1,687	0
翌年度への繰越金	5,105	7,639	2,534

4 その他業務運営に関する事項

(1) 職員の配置

平成22年度は、日本海総合病院の増築・改修工事が8月末に終わり、9月から10月の2ヶ月間で酒田医療センターから消化器内科、整形外科、精神科が移行したことにより、酒田医療センターから関係する看護師などの職員を弾力的に異動し適正な職員配置を実施した。

(2) 就労環境の整備

日本海総合病院の敷地内の院内保育所については、24時間保育の実施を軌道に乗せるとともに、入所定員30人について増員を検討し平成23年度当初から実施することとした。

また、日本海総合病院の駐車場整備では、施設整備完成に伴い、これまで工事等で使用が出来なかった場所を職員駐車場として、利用を再開した。

(3) 酒田市立酒田看護専門学校の開校への支援

平成22年度から酒田市立酒田看護専門学校が開校し、その教員などの教育部門を当法人が受託した。平成22年度は、看護教員養成として日本海総合病院から看護師1名を千葉県看護教員養成講習会に派遣し、教員養成に努めた。